

海外派遣研究助成事業による研究の成果

研究者氏名	林 憲 吾 Ⓜ
所属機関	厚生連高岡病院 外科
・参加した国際学会・会議名	13 TH Asia Pacific Congress of Endoscopic & Laparoscopic Surgeons of Asia 7 TH Annual Convention of Philippine Association of Laparoscopic & Endoscopic Surgeons
渡航期間	自 2017/11/15 至 2017/11/19
・研究内容 ・国際学会・会議内容	Clinical feasibility and oncological outcomes of laparoscopic lateral pelvic lymph node dissection for advanced lower rectal cancer.

研究成果 （ 要約：800字 ）

今回フィリピン マクタン島で開催された 13th Asia Pacific Congress of Endoscopic & Laparoscopic Surgeons of Asia に単身で参加させていただきました。私は、近年さらに重要性が高まっていると考えられる下部直腸癌に対する腹腔鏡下側方骨盤リンパ節郭清術の中期-長期成績について、2施設の成績をまとめて検討した結果について口演で発表してきました。側方リンパ節郭清は日本と欧米他諸外国で考え方が多少違い、非常にいい議論ができたかと考えております。発表の後も他の参加者とそれぞれの施設での手術のとらえ方や適応などについて discussion ができました。また、日本内視鏡外科学会では聞くことができないような他国の手術のやり方や成績、考え方など非常に刺激的で有用な学会参加となりました。

この経験を日々の臨床はもちろん今後の研究にも生かしていき、日本のがん研究の一助となれるよう精進していきたいと考えています。